

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 市街地の整備改善の必要性

(1) 現状分析

当市の中心市街地は、これまで面的な都市基盤の整備が行われず、民間中心の協調建て替え等により、市街地環境が改善されてきたことから、江戸時代に城下町として整備された町割りがそのまま残されている。

現在は、八日町の大型ビル跡地に商業・居住機能を有した複合ビルの整備が進められているほか、良好な市街地形成を図るため、金融機関の建て替えも進められている。

また、遊休資産の利活用を図るため、旧柏崎小学校跡地に八戸三社大祭の山車小屋と広場の整備も進めているところである。

道路整備については、平成15年度に「くらしのみちゾーン」として国に登録され、現在、停車場上線の一部と鳥屋部町線を中心として、順次、道路改良を進めているほか、主要地方道八戸大野線の電線類地中化も進められている。また、令和元年秋頃の供用開始を目指し整備している八戸市長根屋内スケート場に関連した、長根公園の周辺道路の整備も進めている。

一方、JR本八戸駅と三日町などの中心街区を結ぶ本八戸駅通りについては、自動車や歩行者の通行量が多いにも関わらず、歩行空間が狭く危険なうえ、商店街はシャッター通り化しつつある。こうした状況の改善を図るため、平成23年度に「本八戸駅通り地区まちづくり協議会」と市は「まちづくり協定」を締結し、地区の住民と行政が連携したまちづくりを進めているほか、都市計画道路3・5・1沼館三日町線の整備に向け用地補償交渉や歩道整備も進められている。

駐車場については、八戸市中央駐車場を建替整備し、新美術館の整備に伴う利用者の増加に対応するため、時間貸しの台数を増やすこととした。

(2) 市街地の整備改善の必要性

[市街地再開発]

- ・旧柏崎小学校の跡地が整備されることにより、不足している三社大祭の山車制作場所が確保されるとともに、町内単位で制作される山車小屋に近い場所への居住促進が図られるような地域住民が利用可能な広場も含めた整備を進める必要がある。

[道路整備]

- ・今後さらなる進展が予想される高齢社会に対応するために、段差解消や路面美装化など、引き続き歩行者にやさしい安全・安心・快適な道づくりを進める必要がある。

(3) フォローアップの考え方

毎年度末に、基本計画に位置づけた各事業の進捗状況の調査を行い、必要に応じて適切な措置を講ずる。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業


該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

該当なし

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

| 事業名、内容及び実施時期 | 実施主体 | 中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性 | 措置の内容及び実施時期 | その他の事項 |
|---|------|--|--|--------|
| <p>くらしのみちゾーン整備事業</p> <p>[内容] 停車場上線及び鳥屋部町線の電線類地中化</p> <p>[実施時期] 平成28～令和4年度</p> | 市 | <p>中心商店街と屋内スケート場を結ぶ路線である停車場上線及び鳥屋部町線の電線類地中化を実施することにより、景観改善のほか、歩きやすい歩道が整備されることで、回遊性の向上や移動の利便性向上に寄与することが見込まれる。</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (道路事業)</p> <p>[実施時期] 平成28～令和4年度</p> | |
| <p>長根公園周辺道路等整備事業</p> <p>[内容] 長根公園の周辺道路等を整備</p> <p>[実施時期] 平成27～30年度</p> | 市 | <p>八戸市長根屋内スケート場の整備にあわせ、周辺道路の整備や中心街からのアクセス道路の整備を推進することにより、回遊性の向上や移動の利便性向上に寄与することが見込まれる。</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (車道：道路事業)(歩道：都市再生整備計画事業(八戸市中心拠点地区))</p> <p>[実施時期] 平成27～30年度</p> | |
| <p>八戸都市計画道路事業3・5・1沼館三日町線</p> | 県 | <p>都市計画道路3・5・1沼館三日町線はJR八戸線本八戸駅と三日町周辺をつなぐ沼館方面から中心市街地への主</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金</p> | |

| | | | | |
|--|---------------|--|---|--|
| <p>[内容] 3・5・1 沼館三日町線の整備 ・幅員 15m ・延長 700m [実施時期] 平成 22 年度～</p> | | <p>要なアクセス道路であり、かつ鉄道利用者が中心市街地を訪れる際の歩行者道路となっている。しかし、道路の幅員は約 9mと狭く、安全な歩行空間の確保が課題となっている。当事業は、本八戸駅付近のクランク解消を図り、沼館方面から中心市街地への車のアクセスを改善するとともに、車道と歩道を分離し、歩行者の安全を確保するものである。</p> | <p>(道路事業 (街路)) [実施時期] 平成 22 年度～</p> | |
| <p>本八戸駅通り地区街なみ環境整備事業 [内容] 生活道路美装化、コミュニティ道路整備、電線地中化、修景施設整備助成、協議会活動助成など [実施時期] 平成 24～令和 2 年度</p> | <p>市・地権者等</p> | <p>本八戸駅通りは J R 八戸線本八戸駅と三日町周辺をつなぐ道路であり、鉄道利用者が中心市街地を訪れる際の主要な道路となっている。 都市計画道路 3・5・1 沼館三日町線の整備後は、車がスピードを出しにくく、歩行者に優しい道路空間の整備と良好な住宅地の形成、商店が立ち並ぶ通りが整備され、賑わいの創出が図られることが見込まれる。</p>  <p style="text-align: center;">整備イメージ</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業) [実施時期] 平成 24～令和 2 年度</p> | |
| <p>主要地方道八戸大野線無電柱化事業 [内容] 主要地方道八戸大野線三日町から大工町区間の電線地中化 [実施時期] 平成 29 年度～</p> | <p>県</p> | <p>主要地方道八戸大野線の電線類地中化を実施することにより、景観改善のほか、歩きやすい歩道が整備され、回遊性の向上や移動の利便性向上に寄与することが見込まれる。</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (道路事業) [実施時期] 平成 29 年度～</p> | |

| | | | | |
|---|------------------------|--|--|--|
| <p>八日町地区複合ビル整備事業</p> <p>[内容] 老朽化したビルを建て替え、商業・居住機能を有する複合ビルを整備する</p> <p>[実施時期] 平成24～令和2年度</p> | <p>株式会社新八日町プロジェクト</p> | <p>当地区は中心市街地の東西・南北の軸となる主要な幹線道路の交差点に面し、かつては商業施設・遊技場として賑わっていたが、平成18年以降は空きビルとなっており、当地区のみならず中心市街地全体の商業の魅力低下や景観への影響が課題となっていた。</p> <p>当事業を実施することにより、こうした状況を打開し、良質な居住空間の提供や商業機能の誘致により、中心市街地における人口の増加や賑わいを創出することが見込まれる。</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (優良建築物等整備事業)</p> <p>[実施時期] 平成24～令和元年度</p> | |
| <p>番町堀端町地区優良建築物等整備事業</p> <p>[内容] 老朽化した金融機関を建て替え、新たに整備する</p> <p>[実施時期] 平成28～令和2年度</p> | <p>株式会社青森銀行</p> | <p>市の美術館整備にあわせ建築協定により、銀行新社屋を整備することにより、良好な市街地の形成と良質な景観による豊かなまちなみの形成が期待されるほか、銀行内に多目的ギャラリーが整備されることにより、銀行利用者を始めとした来訪者の増加が見込まれる。</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業 (八戸市中心拠点地区))</p> <p>[実施時期] 平成30～令和元年度</p> | |
| <p>花小路整備事業</p> <p>[内容] 段差解消、路面美装化等により、花小路を快適な歩行空間として整備する</p> <p>[実施時期] 平成28～令和元年度</p> | <p>花小路周辺地区まちづくり協議会</p> | <p>花小路は、中心商店街のビル等のセットバックにより形成された路地で、大半が民有地でありながら公共用通路として利用されており、一部がビルでふさがれ通り抜けできなかったが、第2期計画の三日町にぎわい拠点整備事業等により、一部ふさがれていた区間も通り抜けが可能となった。八戸まちなか広場「マチニワ」からガーデンテラスへ抜ける通路と交わる花小路を路面美装化やバリアフリー化など快適な歩行空間として整備することにより、さらなる回遊性の向上が見込まれるとともに、店舗の改装など、商業機能の</p> | <p>[措置の内容] 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業 (八戸市中心拠点地区))</p> <p>[実施時期] 平成30～令和元年度</p> | |

| | | | | |
|--|--|---|--|--|
| | | <p>充実の効果が期待される。</p>  <p>整備イメージ</p> | | |
|--|--|---|--|--|

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業
該当なし

(4) 国の支援がないその他の事業

| 事業名、内容及び実施時期 | 実施主体 | 中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性 | 国以外の支援措置の内容及び実施時期 | その他の事項 |
|---|--------|---|-------------------|--------|
| <p>旧柏崎小学校跡地広場整備事業</p> <p>[内容]</p> <p>旧柏崎小学校跡地に八戸三社大祭山車小屋と広場を整備する</p> <p>[実施時期]</p> <p>平成30年度～</p> | 市 | <p>旧柏崎小学校跡地に八戸三社大祭山車小屋と広場を整備し、山車制作場所を確保できない山車組に制作場所を提供するとともに、地域の憩いの場を提供するために広場を整備する。</p> <p>当事業を実施することにより、観光客が山車小屋を見学できるなど観光資源としての活用のほか、町内単位で制作される山車小屋が居住地の近くに整備されることで、コミュニティの維持や居住推進に寄与することが見込まれる。</p> | | |
| <p>花小路周辺地区修景整備事業</p> <p>[内容]</p> <p>花小路修景整備に対する補助</p> <p>[実施時期]</p> <p>令和2～5年度</p> | 市・地権者等 | <p>自由に通り抜けできる花小路において修景整備を促進し、魅力ある空間を創出することで賑わい創出が見込まれる。</p> | | |